



2021年

デジタル

社会推進賞

2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

牧アイティ研究所 代表
牧 壮

「全てのシニアをインターネットで繋ぐ」という「Internet of Seniors®(IoS)」を理念として、20年以上に亘り、シニアのデジタル活用を实践。

現在85歳。引き続き、シニアに寄り添って、シニア目線でのデジタル活用に向けて、活動を継続中。



ネットで起業

「ペナンの生活を謳歌しつつ仕事をする楽しみ」

牧 壮さん71歳 元IT企業社長

ネット起業の楽しみ、働き方改革、副業、在宅ワーク、フリーランス、リモートワーク

05 CASE

挑む Challenge Next

優雅で快適
ペナン島で過ごす
10年金生活

牧 壮さん71歳 元IT企業社長

少しづつに仕事を縮減し、第二の人生を「働きながら」過ごす。楽な生活を実現するための実践と気づき。

2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

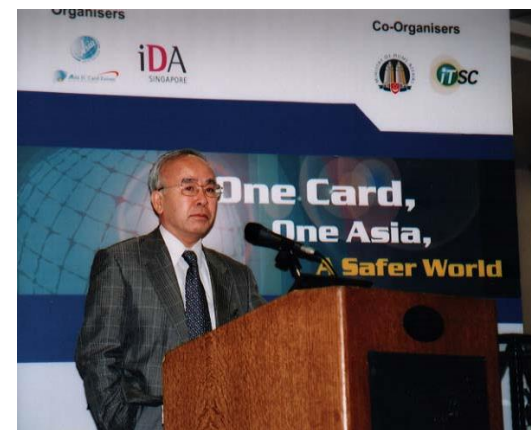
一般財団法人インターネット協会
副理事長
一般財団法人ニューメディア開発協会
顧問・首席研究員

国分 明男



我が国初のインターネットにおける有害情報フィルタリング技術を開発。
情報化社会における基盤的システムの開発及び普及を推進。

インターネット黎明期からのルール&マナーの提唱、
青少年の健全なインターネット利用のための啓発にも尽力。



2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

任意団体 老テク研究会事務局長
NPO法人 ブロードバンドスクール協会監事
シニアプロジェクトコーディネーター

近藤 則子



1992年より老親を介護する友人と老テク研究会を開始。
国内外の高齢者のパソコンボランティア活動「シニアネット」の
創設や相互交流を支援。

自治体との連携が極めて重要である防災や介護分野の情報化において、
就労経験の少ない主婦や高齢者の多い自治会役員を支援する活動に取り組む。



2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

熊本県被災地における 高齢者へのデジタル活用支援 プロジェクトチーム

「シニアがシニアへデジタル技術で支援する」をコンセプトに活動する約1,186名が在籍するボランティア・チーム。。

熊本地震では16名のチームで県内50箇所へのプリンター、Wi-Fiの提供やコミュニティ形成を支援。

その後の豪雨災害などでも、支援を実施。



2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

加賀市窓口課

マイナンバーカード担当窓口業務の改善や取得インセンティブ施策等により、2021年9月1日 現在で、人口に対する交付枚数率「69.3%」を実現。全国の市区町村で1位に。



2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

熊本大学教職大学院 情報教育研修会

教員の児童生徒に対する
ICT等の情報科目に関する育成力を高めるための研修会。
月1回のペースで数年続けており、延べ参加者は毎年1,000名を超える。

当初は熊本県内での取組だったが、
コロナ禍を機にオンライン開催が増え、参加者が全国に広がりつつある。

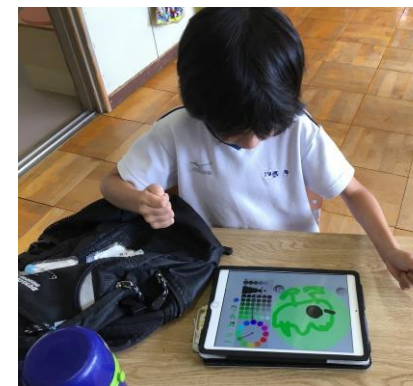
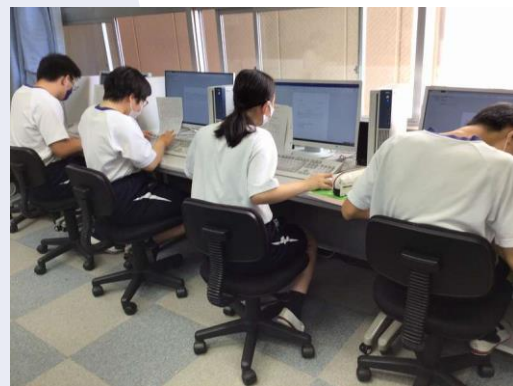


2021年 デジタル社会推進賞 銀賞

岐阜県立東濃特別支援学校 ICTラボ「Goo」

特別支援学校での児童生徒が、
デジタル社会に必要な資質・能力を育むことを目指した
ICT活用の支援に係る校内活動。

「知的障害のある子や年齢の低い子も楽しめる
アプリ検討・プログラム実践」「3Dプリンタの活用の実践」
就労支援につながる「情報処理技術者試験の受験支援」等を実施。



2021年 デジタル社会推進賞

金賞

社会福祉法人プロップ・ステーション
理事長

竹中ナミ



重症心身障がいの長女を授かったことから、
独学で、障がい児医療・福祉・教育を学び、
1991年、プロップ・ステーションを発足。

30年前からICTの可能性に着目し、一流の指導者たちから技術を学
び、自立できるチャレンジドたちの輩出を続ける。



2021年 デジタル社会推進賞

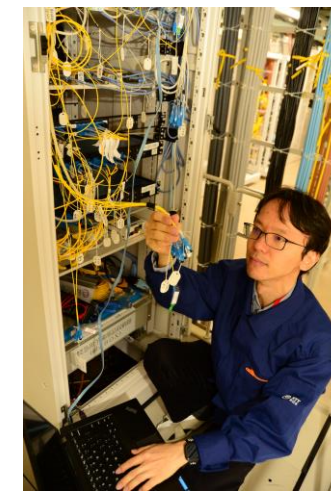
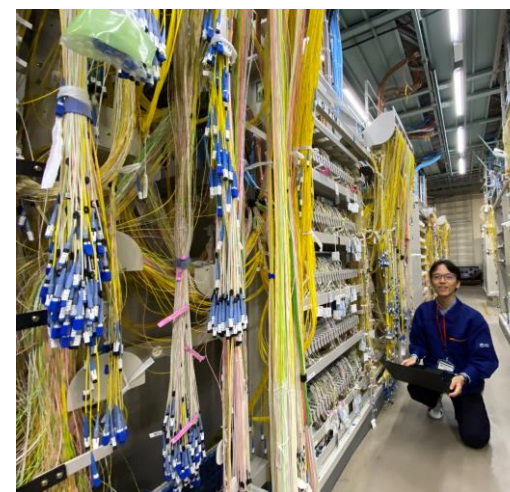
金賞

筑波大学産学連携准教授 登大遊



未踏事業初期のスーパークリエイター。
オープンソースとして全世界数百万人を支える「SoftEther VPN」や
国内18万人が利用する「シン・テレワークシステム」
公務員約3万人が利用する「for LGWAN」などを開発。

システムソフトウェア領域で1万人を育成すること、自分たちで造れる文化をつくることを目指す。



2021年 デジタル社会推進賞

プラチナ賞

坂城高校 及び 長野県教育委員会



地方の全日制普通科・全校生徒203人の公立高校において、一人一台端末やAI活用型学習アプリなどデジタル学習教材を用いて、「個別最適な学び」と「地域連携型探求活動」に取り組む。

生徒の学力向上に加え、探求力や主体性の向上、そして教員の意識改革に成功。

